

# 新川文化芸能協議会の歩み

新川文化芸能協議会副会長・事務局長 はなだ あきら 花田 章

## 1 文化芸能フェスティバルのあゆみについて

新川文化芸能フェスティバルは平成元年10月12日、新川開基100年記念協賛事業として新川西中学校で開催されました。

この記念フェスティバルを契機として平成2年に琴似ヤマチホテルにおいて、浅田武雄、松本博吉、坂田好男、前田志郎の4氏によって新川文化芸能協議会の設立について下打合せが行われました。

平成3年2月12日設立準備委員会は総数38人によって準備に着手、設立総会を迎えるに至りました。同年3月30日に個人会員93人・2団体によって会則を承認、浅田武雄氏（故人）を会長に選出、副会長3人、常任理事7人、理事14人、会計理事・事務局長・参与各1人、監事・顧問各2人によって発足されました。



新川開基百年記念式典祝賀会

第1回新川文化芸能フェスティバルは同年11月10日（日）に公演されました。初代会長に新川連合町内会の浅田武雄会長が就任、その後平成11年

第2代会長に新川連合町内会の松本博吉顧問（故人）が就任、平成13年第3代会長に佐々木真人現会長が就任し、現在に至っています。

毎年5月に定期総会を開き、その年度の事業計画を発表し承認を得て実行委員会を年3回開催し、その都度フェスティバルの出演・出品者の進ちょく状況を報告し、以後の協力と特別出演者について相談。開催日に向かって行動し、その日のうちに後始末と打上げを終わらせることにしました。1月には新年交礼会を開催し、記念フェスティバルについては、5周年・15周年記念を新琴似・新川地区センターで実施しました。

## 2 広報活動について

- (1) 毎年7月に、第1回実行委員会を開催し、出演・出品者募集のチラシの内容検討、フェスティバル開催日の確認をし、チラシ（A4判）ポスター（掲示用）を作成して新川の全町内に配布しています。
- (2) フェスティバルの特別出演者の人選等については、実行委員会の重大検討内容となっています。内容としては舞踊以外で楽器使用、手品、その他特技等に分類しています。
- (3) プログラムは製本完了次第、広告提供者・出演者・出品者に配布し、一般来場者に周知のため地区会館には前もって相当数の部数を備え、出演者と内容に興味を持ってもらうようにしています。
- (4) フェスティバルの大看板は、会場の前と新川

通りの2カ所に設置し、宣伝に努めています。  
これは会員に看板屋を職業にしている小倉辰美(第三)さんの協力で設置を含め、お願いしています。

### 3 舞台部門について

新川文化芸能フェスティバルは、<sup>そうきよく</sup>箏曲・舞・邦楽・<sup>しまい</sup>洋楽・詩吟・詩舞・民謡・合唱(コーラス)・カラオケ・着物着付け・茶道・よさこい等々に振り分け募集しています。

舞踊については、各家元及び会主の方々に、日ごろからご協力を賜りながらプログラム作成準備まで携わっています。天河流・都奈世会会主 北川洋子(第八) 五條流・会主 五條淑寿観 佐藤京子(公園) 雅流・千華会家元 雅千華 川股秀子(東) 緑祥流・緑祥会会主 緑祥千清 浅田喜美子(第二) 札幌民謡研究会師範 大上差知子(第七)の方々が、自宅・会館等の稽古場にてフェスティバルに向かってお弟子さん共々稽古に励んでおります。特に、力石二三男さんは明治40年生まれ101歳になり、長年培われた舞は親善使節としてサハリンにも行き、新川の人気者として活躍しております。



明治40年生まれ、101歳の力石二三男さん

新川はカラオケも盛んで、現在、新川カラオケ同好会・第一町内・西札・公園カラオケ同好会・

氏名のあとのカッコ内は、所属する単位町内会である。

天狗歌謡同好会があり、第14回から日本歌手協会北海道支部相談役 北たかよし(川股 孝義)(東)が参加し、各グループで練習しフェスティバルが発表の場となっています。

今回3人の子どもによる舞いが評判となり、岩井千波ちゃん(五才西札幌)北川陽菜ちゃん(五才第八)鈴木知奈実ちゃん(小学四年生第六)の皆さんは、舞台度胸とかわいさ満点でした。



写真上左は岩井千波ちゃん、写真上右は北川陽菜ちゃん、写真下は鈴木知奈実ちゃん

### 4 展示部門について

油彩は、東京近代美術会会員 清水アヤ子(新川)例年大作100号を2点近代象徴画(天女)・宇宙飛行士と名付けた画面。全日本美術会元会員山田定雄(札西)。水墨画大沢匠山(徳次郎)(第三)。書

道は景星会・女流書作家集団 今野美香（第七）、大田秋水（和子）（第六）は写真にも参画し、更に事務局スタッフとし活躍中です。和紙ちぎり絵 丸露子（第四）は、初回からお弟子十数人と参加し一時けがをされましたが頑張っております。生花は富川社中専正池坊 富川久峰（久子）（第六）、山田社中小笠原流 山田國子（札西）、毛糸手編教室は、日本手芸普及協会指導員 猪口圭子（第五）、木彫は力石さんが舞踊と共に頑張っております。また、児童画（特別出品）として新川中央小学校、新川小学校の皆さん、新川幼稚園、そうせい幼稚園の皆さんに各 20 点位、毎年ご協力を頂き展示して非常に好評を受けております。



風刺絵画・十二支絵画 東川芳範



小笠原流 山田國子  
（山田社中）



専正池坊 富川久峰（富川社中）

## 5 今後の文化芸能活動について



平成 20 年第 18 回新川文化芸能フェスティバルにおいて、後援者である新川連合町内会の長島光治会長から開催セレモニーにおいて『文化芸能活動を身近なものにしようという皆さまの活動は、安全で安心して住める、明るいまちづくりに大きく貢献しています。文化の薫る「新川さくら並木」とともにますます発展し、さまざまな文化芸能に取り組み、楽しみながら実践してほしい』旨のごあいさつを頂きました。五條流会主 淑寿観（公園）の振り付けた「新川さくら並木」のうたの舞踊と共に、新川堤防沿いに長く延びた「さくら並木」と同様、今後とも永遠に花を咲かせ続けたいと思っております。平成 22 年は第 20 回の発表会を迎えるに当たり、会員一同ますます頑張る所存でございますので、地域の皆さまの一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。



天河流・都奈世会会主 天河都奈世